

CEFR-J レベル B1.1
技能 Spoken Production
Can Do descriptor 自分の考えを事前に準備して、メモの助けがあれば、聞き手を混乱させないように、馴染みのあるトピックや自分に関心のある事柄について語るができる。
テスト・タスク あなたは、夏休みの海外語学研修で英語学校に通っています。各国から集まっている学生は、それぞれ英語の学習に苦勞しています。そこで、ある日の授業で、"My way to improve my English skills" というタイトルで各自が短いスピーチをすることになりました。このタイトルに沿うように、自分の英語力の弱点や、それを克服するために行っている工夫や努力（お気に入りの勉強法や楽しく学ぶための工夫など）について話してください。準備時間は3分、話す時間は1分です。
解答例 - I'm not good at listening and speaking. I think I'm OK with reading and writing, but if someone talks in English very fast, I often can't understand what he or she is saying, especially when the topic is unfamiliar with me. Also, I tend to get nervous when I talk in English because I'm afraid of making mistakes. To overcome my weakness, I watch English programs on YouTube every morning and repeat the phrases I learn from the program. Also, I'm trying to make myself relaxed, saying to myself, "Don't be afraid to be wrong!"
採点基準 A: 自分の英語力の弱点をはっきりと示し、どのように苦手であるか明確に説明できる。更に、その弱点を克服するための工夫や努力について十分に話し、弱点と克服の工夫の関連性を明確に示せる。効果的に具体例や詳細情報を盛り込みつつ、しっかりとした構成で話せる。ショート・スピーチとして十分な流暢性がある。 B: 弱点や工夫について、適切な内容や構成で話し、弱点と工夫の関係を明確に示せる。ある程度効果的な具体例や詳細を盛り込んで説明できる。多少不明瞭な点や言い淀みがあったとしても、ショート・スピーチとして適度な流暢性がある。 C: 詳細度や具体性に欠けるものの、弱点や工夫の概要について話せる。文法や語彙の不適切な使い方により内容や前後のつながりに不明瞭な点がいくつかある。やや頻繁な言い淀みや沈黙があり、ショート・スピーチとしてはたどたどしい印象を与える。 D: ショート・スピーチとしては内容が断片的すぎる。文法や語彙の不適切な使用により全体的に不明瞭な点が多い。頻繁な言い淀みや沈黙があり、制限時間のごく一部でしか話していない。あるいは何か話すものの、弱点と克服のための工夫の関連が弱い。 (A: 当該レベルより上、B: ちょうど当該レベル、C: 当該レベルに少し届かない、D: 当該レベルに全く届かない)
開発段階 第1期(作成) 第1期(実施) 第1期(分析) 第2期(改訂) 第2期(実施) 第2期(分析)
メモ ショート・スピーチなので、ある程度しっかりとした構成が求められる。また、制限時間の遵守にも一定の厳密さを求める。内容が十分で約50秒以上話していれば、AもしくはB評価とする。なお解答例を理解できる程度の発音で話せれば、B評価である。
開発担当者 和泉 絵美